

Ludwig van Beethoven

「ベートーヴェンの森」公開講座

もっと知りたい!

ベートーヴェン“第九”

今回の講座は、交響曲第九番(第九)に注目!なぜ“第九”は、今でも多くの人々を魅了し続けるのか。講師に岡田暁生氏を迎え“第九”誕生の歴史を辿ります。

日時・ところ

2020年

12月9日(水)

[午前の部] 11:00~12:30

生田文化会館

第1会議室(1階)

[午後の部] 15:00~16:30

東灘区文化センター

会議室1(8階)

講師

岡田 暁生 (京都大学
人文科学研究所教授)

受講料 500円

※「ベートーヴェンの森」第6回公演のチケットをお持ちの方は無料で受講できます。

※講座当日に限り、「ベートーヴェンの森」第6回のチケットを500円引きで販売いたします。

(チケットの販売は講座終了後に行います。)

※定員(各会場:30名)に達した場合は募集を締め切ります。

※事前申込が必要です。

※演奏はございません。

- 新型コロナウイルス感染予防対策の為、来場時は必ずマスクをご着用ください。
- 入場の際に体温検査を実施し、体温の高いお客様は入場をお断りする場合があります。
- 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、連絡先を提供する場合があります。

お申込み方法 各会場にお電話もしくは受付にてお申し込みください。

申込み受付開始日:11月5日(木)より

お申込み・お問合せ先 生田文化会館 078-382-0861

東灘区文化センター 078-822-8333

主催 (公財)神戸市民文化振興財団

コロナの時代に 第九のメッセージを考える

ベートーヴェンの第九交響曲は、交響曲に合唱を組み合わせるという、当時としては極めて異例のコンセプトをもった作品でした。そして第九はまた、フランス革命以後の近代市民社会がまだその入り口に立っていた時代に書かれました。「さあ万人よ、抱き合え」というメッセージは、まさに市民社会の理念そのものでした。第九初演からほぼ二百年、コロナの時代に第九を聴くとは、市民社会の理念そのものをもう一度振り返るということにほかなりません。



岡田 暁生

Akeo Okada

1960年、京都府生まれ。音楽学者、京都大学人文科学研究所教授。大阪大学大学院博士課程単位取得満期退学、1991年までミュンヘン大学およびフライブルク大学に留学。2001年に『オペラの運命』でサントリー学芸賞受賞、2009年に『ピアニストになりたい!』で芸術選奨新人賞、『音楽の聴き方』で吉田秀和賞受賞。最近はジャズに目覚め、月1でレッスンに通う。師フィリップ・ストレンジと共著で『すごいジャズには理由がある』(アルテスパブリッシング)。近刊に『コロナ時代の音楽を論じた』(音楽の危機)(中公新書)がある。



生誕250年ベートーヴェン・チクルス ベートーヴェンの森 第6回

指揮:石川 星太郎

ピアノ:小菅 優

独唱:神戸市混声合唱団団員より

(ソプラノ)奥田 愛 (アルト)林 真衣

(テノール)鹿岡 晃紀 (バリトン)武久 竜也

合唱:神戸市混声合唱団

管弦楽:神戸市室内管弦楽団

2021年1月10日(日)15:00開演(14:15開場) 神戸文化ホール 大ホール

チケット価格 [全席指定] S席 4,000円 A席 3,000円 U25(25歳以下) 1,000円

曲目 ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15
交響曲 第9番 二短調「合唱付き」作品125

チケット発売場所 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

チケットぴあ TEL.0570-02-9999[Pコード:186-994]

ローソンチケット TEL.0570-000-407[Lコード:52989]

神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300

詳しくはホームページでご確認ください。<https://www.kobe-ensou.jp>